

自然環境要素と環境多様性による オフィスの快適性

10月21日(火)
15:00~17:00

会場 おおさかATCグリーンエコプラザ
および Zoom

(大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビル ITM棟11階)

定員 会場 50名・Zoom 200名

参加費 一般3,000円 エコプラザ出展者:無料

オフィスには、快適性や知的生産性、省エネ性など、様々な性能が求められる。空間の温湿度や空気質、音環境、光・視環境は快適性や知的生産性に影響を与えると考えられるが、年齢、性別、人種などが異なる多様な人々が利用するオフィスでこれらを適切に設計するのは容易ではない。今回は、このような問題へのアプローチとして、執務者が自由に働く場所を選択するActivity-Based Working (ABW)を採用して執務者の快適性向上に取り組まれている事例と、自然換気と室内緑化によるバイオフィリックデザインが快適性と知的生産性に与える影響について検討されている事例をご講演いただき、今後のオフィス設計について考える機会としたい。

プログラム

1. 自然換気を活用した日建設計大阪オフィスにおける脱炭素と運用改善の取り組み

報告者: 五明 遼平氏 (株) 日建設計

内容: 日建設計大阪オフィスでは、ビルオーナーが入居建物の環境性能およびアメニティー向上を目的として増設した自然換気窓を活用し、環境多様性を取り入れたABW(Activity-Based Working)を実践して、脱炭素に取り組んでいる。自然換気窓改修による換気性能の検証に加え、各種IoT(室内環境センシング、サイネージやランプによる自然換気誘発等)を活用した運用方法、省エネ効果や執務者の快適性向上に向けた日々の取り組みを紹介する。

2. バイオフィリックデザイン要素としての自然換気と室内緑化が居住者の快適性と知的生産性に及ぼす影響

報告者: 山中 俊夫氏 (大阪大学)

内容: 近年、居住者の快適性と健康を維持、向上させるために、自然的要素である植物や自然素材、自然光などをデザイン要素として活用するいわゆる「バイオフィリックデザイン」がオフィスなどに取り入れられる例が多く見られている。本講では、我が国の伝統的住宅や現代的住宅をはじめ、オフィスなどの作業空間において側窓による自然換気や室内緑化によって得られる自然環境要素が居住者の快適性や知的生産性にどのような影響を与えるのかについて、被験者を用いた実験を行った例を紹介し、今後のバイオフィリックデザインのあり方について考える。

主催: おおさかATCグリーンエコプラザ実行委員会 (大阪市、アジア太平洋トレードセンター(株)、日本経済新聞社) 共催: (公社) 空気調和・衛生工学会近畿支部

ホームページからお申し込みください

<http://www.ecoplaza.gr.jp/seminar>の対象セミナーページから必要事項をご入力の上、申込みください。

※お申し込みについて…こちらのセミナーにお申し込みいただくには会員登録が必要です。一度会員登録していただきますと、会員限定セミナー申込時の情報入力の手間が省けます。



おおさかATCグリーンエコプラザ

〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ITM棟11階

最寄駅: ニュートラム

トレードセンター前駅直結

<https://www.ecoplaza.gr.jp>

ATCグリーンエコプラザ

検索